

まっすぐに。  
そして、ひたむきに。

JR西日本グループ 考勤の現場③ 米子電気区編

電車の“生命線”である架線と向き合う。  
安全・安定輸送を支えるために。

電車に電気を供給する架線の点検作業を、最終列車から始発列車までの間に行います。  
直接触れて磨耗や緩み、損傷がないか、気温の変化も意識しながら、細部まで慎重に確認する。  
安心して鉄道をご利用いただきたい——そのために電気の通る道を守り続けます。



安心と心地よさを  
お客様にお届けしたいから。